

## 第18回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第18回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果を取りまとめましたので、お知らせします。

### 結果のポイント

- ・総合景気感のD I 値は（-15）となった。
- ・前回3月調査値（+9）と比べると-24となり、景気感は悪化した。

### 【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成26年6月調査

	調査数	前回調査		今回調査			前年調査
		A 現況 (H26. 3)	見通し (H26. 4-6)	B 現況 (H26. 6)	(B-A)	見通し (H26. 7-9)	現況 (H25. 6)
					前回現況 との対比		
総合	100	9	-23	-15	-24	10	-18
農業	10	0	-10	-10	-10	20	-50
建設業	11	18	-9	-27	-45	18	±0
製造業	11	-9	0	0	9	-18	9
卸売・小売業	25	21	-34	-21	-42	8	-20
観光業	10	30	-40	-30	-60	10	-30
飲食業	10	0	-60	-10	-10	0	-30
サービス業	23	0	-9	-5	-5	18	-13

- 調査目的 本市の経済動向をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容
  - （1）現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
  - （2）3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法
  - （1）現在の景況感（2）3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い（良くなる）」の構成比から「悪い（悪くなる）」の構成比を引いて「現況D I」、「見通しD I」として指標化しました。
  - 例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
  - 「D I」（Defusion Index、デフュージョン・インデックス）は、企業や業界の景況感などを数値化した指標のことで、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」（日銀短観）などで用いられています。